



セネガルの子どもたちに教育を！

# バオバブの会 ニュースレター

2016年 NO.5

(通巻47号)

9月11日発行



ようやく、朝夕の風に秋の訪れを感じられる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今号のニュースレターは、下半期のイベント情報を中心にお届けいたします。

皆様お誘い合わせて、是非、ご参加ください。

## 活動報告

### アフリカ日比谷フェスティバル

<http://africah.web.fc2.com/event/j-hibiya2016.html>

日時：2016年7月9日（土）10日（日） 10:00～21:00（10日は17:30まで）

会場：日比谷公園・噴水広場

主催：アフリカヘリテイジコミティー <http://africaheritage.jp/>



音楽、絵画、服飾、ものづくり、食など、アフリカのさまざまな文化を楽しめるフェスティバルが、今年も日比谷公園で開催されました。ステージからはアフリカ音楽が流れる中、色とりどりの服や雑貨が並べられ、アフリカ料理のおいしそうな香りも漂ってきて、噴水広場はアフリカ一色に。初日は天候に恵まれませんでしたでしたが、2日目は晴天となり、大にぎわいとなりました。バオバブの会は、おなじみセネガルのママさんたち作成のバッグ「ケベサック」や、ディウフ会長がセネガルで仕入れてきたアクセサリー、アフリカ関連絵本などを販売しました。

### 第6回 GOSPEL FOR PEACE

<http://www.gospel-sq.com/gp2016/>

日時：2016年8月6日（土）開場15:30、開演16:00、終演20:30

会場：めぐろパーシモンホール 大ホール

主催：NGOゴスペル広場 <http://www.gospelhiroba.com/html/index.html>

「楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる」を合言葉に「ゴスペル×国際協力」の輪を広げるNGOゴスペル広場主催の、年に1度のコンサート。全国各地のファミリーグループと講師陣によるゴスペルの数々に、今年はカホン（ラテンアメリカの打楽器）の合奏も加わって、一段とパワーフルなコンサートとなりました。バオバブの会は、NGOゴスペル広場が支援する5団体のひとつとして、ステージにての活動紹介と、ロビーにて、バッグ、アクセサリー、絵本などを販売しました。入場料よりの寄付の他、たくさんの募金もいただくことができました。

## 『母たちの村』上映会でのスピーチ

8月26日（金）、日比谷公園内にある日比谷図書文化館の小ホールで、セネガルのウスマン・センベヌ監督の映画『母たちの村』の上映会が開催されました。このイベントに、主催者の赤道友の会<https://www.facebook.com/joinSekitomo/>より、ディウフ会長がスペシャルゲストとして招かれ、上映後に、FGM、映画の中のアフリカ女性のイメージと現実との違い、女性の社会での役割、マスコミと社会、教育の大切さ、そして、バオバブの会について、約30人の観客の前で語りました。

### イベント案内

★★★よこはま国際フェスタ2016★★★

<http://yokohama-c-festa.org/>



日時：2016年10月8日（土）～10日（月・祝日）10:30～16:00

\*バオバブの会は9日（日）、10日（月・祝）に出展

会場：グランモール公園 美術の広場

（横浜市西区みなとみらい3丁目／東急東横線・みなとみらい駅より徒歩5分）

主催：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

よこはま国際フェスタ 2016 プロジェクト

昨年までは象の鼻パークで開かれていた「よこはま国際フェスタ」が、今年は会場をグランモール公園の横浜美術館前の広場に移して開催。国際協力・国際交流に携わる団体が参加し、料理や民芸品や雑貨などを通して世界の文化を伝えます。ステージではアジアやアフリカの音楽やダンスも。バオバブの会は食販で出店し、酸味のあるチキンシチュー「ヤーサ」やピーナッツソースのビーフシチュー「マーフェ」、西アフリカのドーナッツ「ベニエ」、セネガルスタイルのミントティー「アターヤ」を提供します。ケバサックやアクセサリーなども販売する予定です。みなとみらいエリアのアクセスのよいところですので、ぜひお立ち寄りください。

### ★★★2016年福引き★★★

今年も募金活動の一環として、大好評の福引きイベントを開催いたします。

賞品は、セネガル、またアフリカの魅力をお伝えできるような、民芸品、アクセサリー、音楽CD、アフリカ関連児童書などに加え、現地の女性グループ製作のアフリカンプリントの布製バッグ「ケバサック」も、多数ご用意しています。（空くじはありません）

福引きチケットは、1枚1,000円です。

多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

★購入ご希望の方は、次の方法でお申し込みください。

1. お近くのバオバブの会会員にお声をかけてください。
2. バオバブの会ホームページ内<http://the-baobab.org/index.html>の「お問合せはこちら」  
[info@the-baobab.org](mailto:info@the-baobab.org)に、「福引きチケット購入希望」、枚数、お名前、ご住所、お電話番号を明記してお申し込みください。

※福引きの抽選は12月4日「バオバブパーティ」（下記詳細）にて行います。

### ★★★バオバブパーティ2016★★★

★★ひと時のセネガル体験をご一緒に楽しみましょう★★

日時：2016年12月4日（日） 12：30開場 13：00開始 15：00終了

会場：アフリカ料理レストラン『カラバッシュ』 <http://www.calabash.co.jp/>

〒105-0013 東京都港区浜松町2-10-1 浜松町ビルB1

JR「浜松町」南口S5階段金杉橋方向出口（S5階段）より徒歩90秒

都営浅草線&大江戸線「大門」駅B2出口より徒歩4分

都営三田線「芝公園」A3出口より徒歩6分

会費：1,000円

（美味しいセネガル料理の軽食と飲み物つき）

当日、受付にてお支払いください。



内容：セミナー「セネガルのイスラムと学校教育（仮題）」、活動報告、福引き抽選会、ゴスペルミニライブ

アフリカグッズミニバザーも行います！ご家庭に眠っているアフリカ関連の衣装、雑貨、本、CD、楽器等ありましたら、ぜひお持ちよりください。

定員：40名

福引きチケットを購入された方もされなかった方も、どなたでもお申し込みできます。

★先着順の受付となりますので、参加ご希望の方はお早目に下記の方法でお申し込みください。

お申し込み方法：

バオバブの会ホームページ内<http://the-baobab.org/index.html>の「お問合せはこちら」

[info@the-baobab.org](mailto:info@the-baobab.org)に、「バオバブパーティ参加希望」、お名前、ご住所、お電話番号を明記してお申し込みください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★

第20回 きね 杵か歯か

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)



「杵があれば歯はいらない」ということわざがあります。

アフリカの杵（ウォロフ語ではKUURクウル）は、日本の杵とは異なった形をしています。ものを砕きつぶすという働きは同じなので、形の違いは、つぶす食材の性質によるようです。アフリカの杵は、通常、食材を粉末状にしますので、より多くの回数をつきおろすことができるようになっています。一方、主に餅のような粘りのある生地を作る日本の杵は、より強く、また均一に打ちおろすのに都合の良い形をしています。

形が違えば、動きやそれに伴う音も違ってくるわけですが、アフリカの杵のリズムが少しだけ日本の杵のそれに近くなるのは、NAKKナックを作るときです。日本で暮らすようになって、初めて「餅つき」の行事に参加したとき、このナックのことを思い出しました。ナックとは何でしょうか？それは、セネガルの伝統的な甘いお菓子です。私の生まれた地方では、収穫の季節に、刈り入れたばかりのミル（注：マリ、ニジェール、セネガルなど、特にサハラ砂漠南縁のサヘル地方でさかんに栽培されてきた主食用穀物。日本語ではトウジンビエと呼ぶ）から作ります。

収穫し脱穀したミルを、水で念入りに洗ってから蒸します。その後、木の臼に入れて、砂糖を加え、まさしくお餅のように杵でつきます。しかし、ナックの生地はお餅のようにべたべたしませんし、粘りもでてきませんので、臼の中でナックをひっくり返す役目の人は必要ありません。杵でまんべんなくついていって、全体が均一な状態になればできあがり。お団子とおはぎの真ん中くらいの大きさに丸めていただきます。

さて、話を杵に戻しましょう。日本の杵は、現代ではもっぱらお餅をつくためのものですが、アフリカの杵は、あらゆるものを砕き、粉にするのに使われています。穀物をクスクスなどのために粉末状にしたり、乾燥した木や草の葉を粉にして香辛料や薬にしたり、様々な材料を混ぜ合わせたり。つまり、近代的なキッチンでミキサーを使うように、杵を使うのです。

アフリカの杵がそのように使われるからといって、単純に歯と比べていいというわけではありません。けれども、杵も歯も同じように、砕く、つぶす、平たくするという働きをします。また、それは、よく似たリズムカルな動きによって行われます。

それでは、この、杵と歯を比べるということわざは、どのように理解するべきでしょうか？注目すべきところは、両者の働き、リズムカルな動き、また、扱うもの、つまり食べ物などではなく、扱われるものの量の違いではないかと思います。

ほんの数10グラムほどしかない臼は、キログラムで測られる臼より、圧倒的に容積が小さいのです。そのため、ひとつの臼と1本の杵を使えば数分で砕けるものを、もし歯で砕こうとしたら、一日かかっても終わらないでしょう。いいかえれば、杵は歯よりもはるかに能率的だということになります。つまり、道具の価値。これが、このことわざの意味するところではないでしょうか。

ここで、似たような言い方をあげてみましょう。

「トラックがあれば、引っ越しするのにロバはいらない」

「網を使う人は、釣り竿を使う人より、早くたくさん魚をとる」

「米を作る人は、機械ができてから、手で苗を植えることはなくなった。コンバインが、骨の折れる刈り取り機に取って代わったように」

セネガル、また多くのアフリカの国々でも、様々なところで、伝統的な道具の代わりに機械が使われるようになってきました。農村の女性たちが杵と臼でミルをつくということも少なくなっていますし、都会の女性たちは、もっぱら、市場やスーパーマーケットで、既にできているもの、ミルなら粉になっているものを買っています。その結果、アフリカの大都市で暮らす若者たちの多くは、杵のこと、また、その役割やアフリカ社会の中での歴史を知りません。それは、日本でも、都市に住む若者たちが、伝統的な道具のことを知らないのと同じではないかと思います。

しかし、日本では、これほど、あらゆる面で技術が発達しているにもかかわらず、未だに、いくつかの伝統的な道具ややり方を大切にしています。例えば、大都市の多くの地区や職場や学校などで、年末やお正月に、杵と臼を使った「餅つき」の行事が開催されています。杵や臼を日々の生活の中で使うことはなくなったとしても、このような楽しいイベントの中に残し、生かしているところが素晴らしいと思います。

セネガルではどうでしょうか。経済も技術も日本にははるかに及ばない現在でも、他の多くのアフリカの国々と同様、伝統的な道具ややり方、良き慣習やそれらの価値がどんどん失われていっています。この調子で社会が進んでいけば、将来、経済的・技術的發展が日本と同じ段階にまで達したとき、セネガルはもはやセネガルではなくなってしまうのではないかと私は恐れています。実際にどうなるかはわかりませんが、もしそうなってしまったら。。。少し、いや、とても残念です。

最後に、エピソードをひとつ。

セネガル、少なくとも私の故郷のサルーム地方では、実は、杵と臼は、男性がほとんど触れることのない道具です。もし男の子が杵つきをしている場所や台所に入っているのを父親に見られたら、きつく叱られます。そのような場所はもっぱら女性の場所であり、男性は、特別な用事がない限り入らないとされているからです。ですから、私は、セネガルで生まれ育ってきた中で、男性が杵をついているのを見たことがありません。私以外の男性が、ですが。

というのは、私は杵をつくことができます。それどころか、あるとき、従妹たちを驚かせたことがあるほど、大抵の女性よりも上手につくことができます。それは次のような理由によります。

私が学校に入る年齢に達したとき、住んでいた村には学校がありませんでした。そのため、私は、町に暮らす親戚の家に預けられ、そこで小学校時代を過ごしました。その間、私を育ててくれた女性、ヤ・アブサは、彼女と同じ世代の人々と比べて、非常に進んだ考えの持ち主でした。仕事を男女で分けることに反対していたのです。「それが手だけでできることなら、男がやっていることは女にもできるし、女がやっていることは男にもできる」というのが彼女の口癖でした。そのため、ヤ・アブサは、私に、杵つきも、料理も、水汲みも、皿洗いも、すべてやらせました。

近所の人々は、初め、私が女の子のような仕事をしているのを見て、怪訝な顔<sup>けげん</sup>をしたり、面白がったりしました。友だちからはからかわれ、いじめられたことさえありました。けれども、そのうちに見慣れてしまったのか、皆、何も言わなくなりました。

私は、今、ヤ・アブサに、とても感謝しています。彼女のおかげで、私は、生活していくのに必要なことを何でもできるようになりました。また、杵や臼といった道具に親しんだことで、それらを通して、セネガルの文化的伝統を、深く、広く、自分の中に保ち続けています。

ヤ・アブサ、本当にありがとう！ 天国でやすらかに眠ってください。

### バ オ バ ブ の 会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町 993 - 35

TEL&FAX 045 - 373 - 0059

HP : <http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座 no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215